



岡山県原水協通信

2015年 7月 24日 No348
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町 4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

総社 片岡市長が行進の先頭に

平和行進8日目は総社市山手支所を出発し、総社市役所―清音支所―倉敷市真備支所のコースでした。午前11時前、総社市役所に到着した行進団を市長・市議会関係者、職員など多くの方が拍手で出迎えてくださいました。片岡市長は「(国会の安保法制の議論を受け)怪しい雲行きだが皆さん頑張ってほしい」と激励されました。議会を代表して津神議員が挨拶、行進の先頭に立って歩いてくださいました。職員から集まったペットボトルカンパは2本で総額8910円でした。

(行進の先頭の片岡市長=右から2人目、津神議員=左から2人目)



総社市で原爆写真展

総社市では戦後70年、被爆70年を記念して原爆写真展を開催しています。平和行進の総社市到着と時期を合わせ、7月21日から総社市総合福祉センター1F ロビーで展示されています。これは総社市が主催し、総社平和委員会が共催して開かれているもので、写真パネルは日本被団協の作成した「原爆と人間」を県原水協が提供しています。会期は広島、長崎原爆忌終了の8月10日までです。



行進9日目 船穂～金光へ

行進9日目は倉敷市船穂支所から玉島経由、浅口市金光支所までのコースです。出発集会では支所の代表から「核兵器のない平和な世界をとという皆さんの運動に敬意を表します」と激励を受けました。行進団45人は猛暑の中元気に出発しました。



私の原点は母の戦争体験

夢の島から80日 214万7157歩になりました

母が語ってくれた広島・長崎の惨事、東京大空襲の様子。戦争は絶対にしてはいけないと子ども心に強く、深く焼きつきました。全国通し行進を決意し、歩いている原点がここにあります。夢の島から80日で214万7157歩歩きました。(松永洋子さん)